

平成14年度6月補正予算について

〔注： は新規施策分
は大幅増額分
単位：千円〕

1 えひめ丸損害賠償対策

45,066

えひめ丸事故弁護士報酬(教育委員会 高校教育課)

45,066

えひめ丸事故に関する賠償交渉等を委任した弁護士(5人)に対し、所属する第二東京
弁護士会報酬会規に基づき、報酬を支払う。

支払先 丸の内総合法律事務所所属弁護士 4人
足立・ヘンダーソン・宮武・藤田法律事務所所属弁護士 1人
内訳 成功報酬 34,440千円(経済的利益の4%~16%)
日当 10,626千円(延べ116人日)

(弁償金の処理)

14年4月10日の和解契約締結後、4月17日に受領したえひめ丸事故損害弁償金
1,495,993千円(11,470,582米ドル)を全額歳入予算に計上するとともに、次のとおり処
理する。

今回補正予算の財源に充当	
えひめ丸事故弁護士報酬	45,066千円
14年度当初予算の財源に充当(財源更正)	
水産実習船建造事業費	1,010,030千円
職員経費	50,236千円
えひめ丸慰霊碑管理協会運営費等補助金	1,633千円
「えひめ丸」実習生等心のケア対策事業費	15,631千円
13年度以前支出済分、15年度以降支出予定分の財源に充当	
14年度当初予算計上の基金繰入金の減額	373,397千円
(参考) 12年度支出済分	48,455千円
13年度支出済分	390,130千円

2 国施策への対応

79,649

(債務負担行為限度額 2,482,329)

慢性疾患児家族宿泊施設整備事業費(保健福祉部 健康増進課) 54,649

遠隔地から入院等をした慢性疾患児の家族の経済的・精神的負担を軽減するため、付き
添い家族が滞在できる施設を整備する。

建設場所 松山市室町(県立中央病院隣接地の県有地)
構造・規模 木造2F 200.22㎡
施設概要 宿泊室(個室)5室 プレイルーム 相談室 洗濯室 など
供用予定 15年4月から
負担区分 国10/10(建築費のみ)

牛海綿状脳症緊急対策資金利子補給金(農林水産部 畜産課)

(債務負担行為限度額 2,482,329)

牛海綿状脳症の発生に伴い13年度に創設された経営維持に必要な運転資金の内容拡
充に伴い、拡充された部分について、その利子の一部を助成する。

BSEつなぎ資金(貸付期間:13年10月5日~14年3月31日)
限度額 大家畜経営維持資金(肉用牛及び酪農経営体対象)
肥育用牛、乳用牛 1頭当たり100千円
繁殖用牛 1頭当たり50千円

	食肉処理販売等特別資金(食肉処理販売等業者対象)
	貸付対象者 1人当たり40,000千円
償還期間	1年間 3年間(うち1年間は償還猶予 元金均等償還)に延長
貸付実績	682,329千円
利子補給率	県1.01%(中央畜産会1.01% 融資機関0.24%) (基準金利2.85% 貸付利率0.59%)
BSE対応資金(貸付期間:14年4月23日~15年3月31日)【今回創設】	
限度額	BSE対応畜産経営安定資金(肉用牛及び酪農経営体対象)
つなぎ資金	肥育用牛、乳用牛 1頭当たり150千円
との合計額	繁殖用牛 1頭当たり75千円 BSE対応食肉処理販売等特別資金(食肉処理販売等業者対象)
	貸付対象者 1人当たり40,000千円
償還期間	2年間(元金均等償還)
融資枠	1,800,000千円
利子補給率	県1.01%(中央畜産会1.01% 融資機関0.24%) (基準金利2.95% 貸付利率0.69%)

スーパーサイエンスハイスクール研究開発事業費(教育委員会 高校教育課)

25,000

技術革新・産業競争力の強化を目指し、理科・数学に重点をおいたカリキュラムの開発や大学・研究機関等との連携方策等についての研究を推進する。

研究開発校	松山南高校理数科(14年度入学生)
研究期間	14年度~16年度
事業概要	理科・数学に重点をおいたカリキュラムの開発 大学や研究機関等との連携方策の研究 創造性や独創性を高めるための指導方法の研究 特別活動・文化部活動の充実
負担区分	国10/10

(参考)

文部科学省指定状況

全国26校(国公立高等学校23校 私立高等学校3校)

松山南高校における新設科目等

(教科等)

(内容)

サイエンスX	研究意欲を育み、基礎能力を充実させる。
理数セミナー	高度な技術、方法論など研究者の基礎的資質を養成する。
チャレンジX	個人やグループごとの研究により創造性や独創性を育成する。
特別行事等	画期的な技術等を体験させる。